

レイアウトの自由度とキー操作性を両立した ノートテイキングアプリケーションの開発 — キー操作に特化したビジュアルノートアプリ: 鍵記 —

稲葉皓信(京都大学情報学研究科)

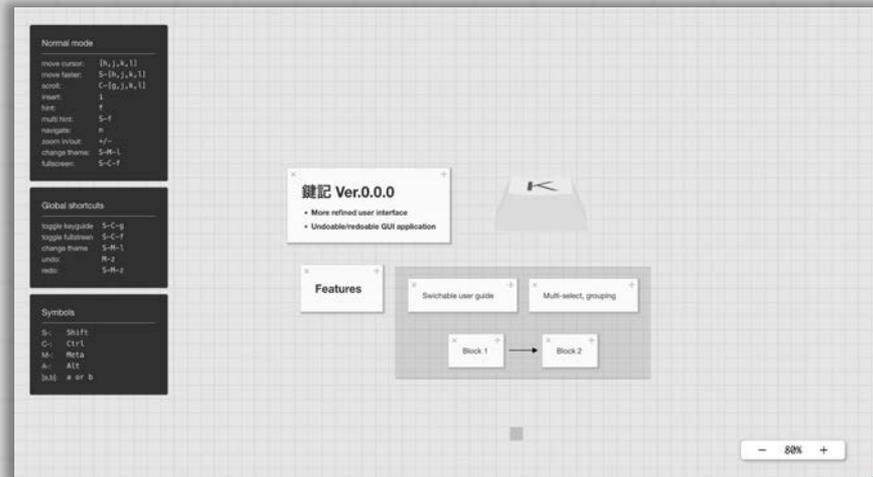


kenki
鍵記

キードリブンな ビジュアルノートを

これまではマウス操作が主流
だったビジュアルノートアプリ。
自由度の高いビジュアルノートを
「キーボード操作のみで書く」と
いう体験を、鍵記は提供します。

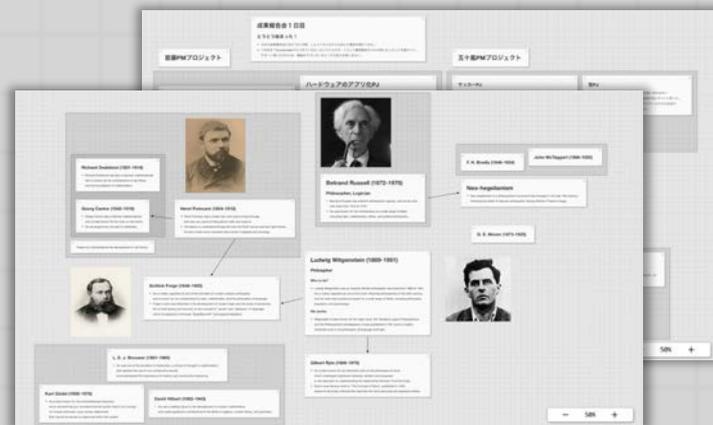
多様なキー操作をマウスレスで実現



ブロックの配置・移動・編集を全てキー操作で行います

空間的な関係性の記述

レイアウトの自由度を生かし、ビジュアルノートならではの空間的な関係を記述できます。リレーション・グループ化や複数選択機能を駆使しましょう。



習熟のサポート

キー特化アプリの懸念はユーザにとっての使い易さ。鍵記では、

- マウス操作対応
- モード別キーガイド(→)
- 段階的ショートカット

などにより、ユーザの習熟をサポートします。

Normal mode

move cursor:	[h, j, k, l]
move faster:	S-[h, j, k, l]
scroll:	C-[g, j, k, l]
insert:	i
hint:	f
multi hint:	S-f
navigate:	n
zoom in/out:	+/-
change theme:	S-M-l
fullscreen:	S-C-f

Enjoy your keyboard life!

他のアプリと併せて
キーボードのみで
PCを操作してみよう。

